

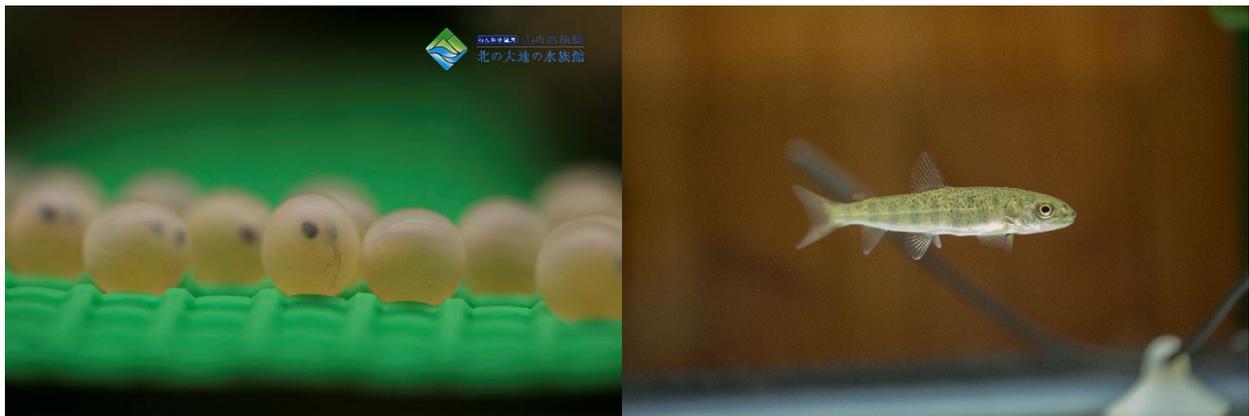
Press Release

報道関係各位

平成28年5月18日
道の駅おんねゆ温泉定管理者
果夢林ショップ運営協議会
菅原 武美

イトウのたまご展示のお知らせ

北の大地の水族館では、5月18日より館内ホールにてイトウ(※1)の受精卵の展示を開始しました。巨大淡水魚イトウの卵は、大きな体に似合わず私たちが普段目にするイクラと同じぐらいの大きさです。違うところといえば赤色ではなく黄金色(※2)をしているところでしょうか。そんな黄金のイクラから生まれたイトウの一年後の姿とともに展示しております(※3)。



昨年展示した受精卵(発眼済み)

現在展示中の1年魚

※1.イトウ：体長1.5m以上に成長する日本最大の淡水魚。幻の魚とも呼ばれ環境省のレッドリストでは絶滅危惧1B類に指定されている。日本産サケ科魚類の中で唯一の春産卵魚。サケなどと違い険しい山中で繁殖行動を行う上、現在北海道内では繁殖可能なメスが3000匹弱と考えられており、人間の生活から離れた地域でしか残っていない。

※2.海洋生活期間の短い(無い)サケ科魚類は、いくらの赤色の元となる餌から得るアスタキサンチンの量が少ないため卵本来の色である黄金色の卵を産むと考えられている。

※3 朱鞠内湖淡水漁業協同組合様のご協力の下展示。

お問い合わせ 北の大地の水族館 担当/山内創
TEL : 0157-45-2223